

地域とともに、
明日のために。



医療法人 光臨会

荒木脳神経外科病院

Araki Neurosurgical Hospital

病院案内



急性期から生活期まで、患者さま中心の全人的な医療と介護を実践します

救急医療で積極的な地域貢献を

「脳卒中の手術だけでなく、回復期まで患者さまにずっと関わるトータルな医療を行いたい」との思いで、当院は昭和61(1986)年、広島市西部地区で唯一の脳神経外科専門病院として開院しました。以来、病院機能の充実と医療技術の向上を図り、現在では脳卒中をはじめ頭部外傷、その他の脳疾患に対して、急性期から回復期、在宅医療まで自院で完結できる体制を整備。救急車の年間受け入れ台数は2,000件を超え、地域医療の一翼を担う拠点として確かな信頼を培っています。

今後はさらに、地域の医療機関や福祉施設との密接な連携を推進。「患者さま中心」の考えのもと、疾病予防から介護までを視野に入れ、社会面・経済面・心理面などあらゆる視点から最新・最良の全人的な医療を実践していきます。



医療法人 光臨会 理事長
荒木 攻



荒木脳神経外科病院 院長
荒木 勇人

● 医療法人 光臨会 理念 ●

一、皆様に安心していただける、全人的な医療と介護を目指します。

● 荒木脳神経外科病院 理念 ●

- 一、脳神経外科としての専門性を軸に、幅広い診療体制で地域医療に貢献します。
- 一、急性期医療の中核病院として、高機能で質の高いチーム医療を行います。

● 荒木脳神経外科病院 運営方針 ●

1. 「医療の原点は救急である」
2. 快適な療養環境と接遇の提供
3. チーム医療の推進と相互啓発
4. 「医療と福祉の複合化」の推進

● 荒木脳神経外科病院 患者さま中心の医療 ●

脳神経外科という看板を背負い、すべての職員が患者さまにかかわるすべての面で、その名に恥じぬよう各々の質の向上に努めて、チームで医療を提供します。

病院概要

(2024年3月1日現在)

診療科目

脳神経外科・脳神経内科
内科・外科
循環器内科・消化器内科
リハビリテーション科
放射線診断科

許可病床数

110床 (開放病床5床含む)
SCU9床
急性期32床
地域包括ケア10床
回復期リハビリテーション59床

看護配置

SCU3対1・一般病棟10対1
回復期リハビリテーション病棟13対1

職員数 (法人)

302名

認定・指定施設

保険医療機関
救急告示病院
労災指定医療機関
原爆被爆者指定医療機関
生活保護指定医療機関
結核予防法指定医療機関
身体障害者福祉法第15条第1項指定医師
広島地区病院群輪番制病院
西区在宅あんしん病院 (広島市西区医師会)
日本医療機能評価機構認定病院 (3rdG Ver.2.0)
日本脳卒中学会認定 一次脳卒中センター コア施設
日本脳卒中学会認定研修教育施設
日本脳神経外科学会研修プログラム関連施設 (東京女子医科大学)
日本脳神経外科学会研修プログラム連携施設 (広島大学)
日本脳神経血管内治療学会研修施設
日本認知症学会専門医教育施設
日本脳ドック学会認定施設
協力型臨床研修施設 (県立広島病院)
日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
日本輸血・細胞診療学会 輸血機能評価認定施設 (I&A制度) 認証施設
広島県域リハビリテーション広域支援センター
国土交通省指定 短期入院協力病院 重点支援病院
ベトナム社会主義共和国ダナン病院友好提携病院



日本医療機能評価機構認定証



「医療の原点は救急である」 的確な診断と治療で地域医療に貢献します

当院は脳神経外科領域の専門病院として、脳神経外科医を中心に、内科系・外科系の総合診療科領域の医師が連携。365日昼夜を問わず救急を受け入れ、脳卒中の超急性期・急性期医療を中心に地域医療を支えています。また、脳卒中の原因となりうる生活習慣病にも対応。MRIなどによる検査も積極的に実施し、病気の予防・早期発見にも努めています。



脳神経外科

脳神経外科領域の専門病院として専門医が多数在籍し、超急性期から回復期、生活期まで、脳卒中治療のあらゆる段階に対応。言語障害や運動麻痺などの後遺症を防ぐべく迅速な治療を行います。

日本人の5人に1人が発症する「脳卒中の3疾患」に対応

1 脳梗塞

動脈硬化または血栓（血の塊）によって脳の血管が閉塞し、脳組織が壊死してしまう病気です。左右どちらかの手足の麻痺やしびれ、言語障害などの症状が急に出現します。

2 脳出血

脳の血管が破れて出血し、血の塊が脳を圧迫します。動脈硬化や高血圧、血管の奇形などが主な要因。血腫量に応じて「開頭血腫除去術」や「穿頭血腫吸引術」などの手術を行います。

3 くも膜下出血

脳の動脈にできた瘤が破裂し、くも膜の下で出血して激しい頭痛や嘔吐が起こります。カテーテル手術の「コイル塞栓術」や、動脈瘤を止める「ネッククリッピング術」を行います。

その他の疾患

外傷（急性硬膜外血腫、急性硬膜下血腫、慢性硬膜下血腫など）
感染性疾患（脳炎、髄膜炎など）
脳腫瘍（脳の表面や脳組織にできる腫瘍全般） など

脳梗塞の代表的な治療法

カテーテルで血栓を除去する

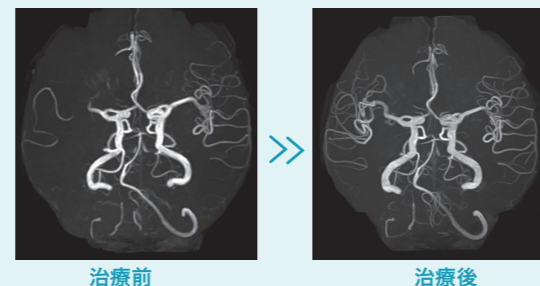
脳血管の中でステント（網のような機器）を広げて血栓をからめ取る「ステントリトリーバー療法」は、高い確率で脳血管を再開通できます。

手術件数153件(2018~2022年)

「t-PA治療」で血栓を溶かす

静脈内に薬剤を投与する「t-PA治療」で、血栓を溶解させて脳血流を再開させます。発症4.5時間以内の早い時点で、速やかに処置します。

治療件数40件(2018~2022年)



脳神経内科

脳や脊髄、神経、筋肉などの病気を担当。頭痛やめまい、しびれ、ふらつき、歩きにくい、もの忘れといった症状について、問診と検査から診断・治療を行います。

主な疾患

頭痛（慢性頭痛、片頭痛など）、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病・本態性振戦、てんかん など



総合診療科

循環器内科・消化器内科・外科・内科

脳梗塞の原因となる不整脈などの心疾患の早期発見・治療や、脳卒中の危険因子となる動脈硬化や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病の治療など、脳卒中の予防のために循環器系や消化器系の疾患にも対応し、患者さまを幅広くケアします。



高度な医療を行う「専門外来」で、多様なニーズに応えます

ボトックス治療

脳卒中後の麻痺で硬くなった筋肉による手足のつっぱりや顔面けいれんなどに対して行う治療です。緊張した筋肉に薬剤を注射してつっぱりを軽減させ、リハビリテーションとの組み合わせで機能の回復を図ります。



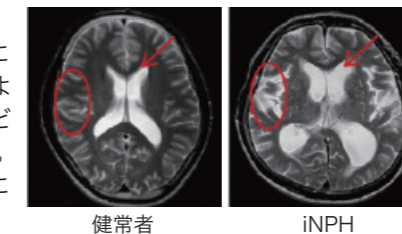
高気圧酸素治療

高い気圧環境で高濃度の酸素を吸入し、血液中の酸素量を増加させます。急性一酸化炭素中毒や突発性難聴などの治療に有効です。



正常圧水頭症センター

特発性正常圧水頭症（iNPH）は、脳内に脳脊髄液がたまり脳を圧迫することにより、歩行障害や注意力低下、排尿障害などの症状が現れる高齢者特有の疾患です。当センターでは、入院検査ののち、必要に応じて手術加療・リハビリを行います。



「患者さまの権利」をあらゆる場面で尊重します

診療、手術、入院など全ての場面において、スタッフ全員が患者さまの権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います。

- 個人の尊厳を守るよう配慮します。
- 最善かつ安全な医療を実践します。
- 「知る権利」を重視し丁寧に説明します。
- 個人のプライバシーを守ります。
- 治療方法をご自身で決定できるようにします。
- 他の医師の意見を聞く権利を尊重します。
- ご不満の点は遠慮なくお申し出ください。

24時間365日稼働の一次脳卒中センター (PSC) コア施設

当院は一般社団法人日本脳卒中学会が認定した「一次脳卒中センター (Primary Stroke Center)」のコア施設です。地域の医療機関や救急隊からの要請に応じて、24時間365日脳卒中患者さまを受け入れる体制を整え、地域の脳卒中急性期治療に貢献しています。



最新機器を導入し診断の精度・速度を向上

高性能の検査機器や手術機器を積極的に導入し、患者さまの命に関わる手術の精度と安全性を高めています。当院では最新のMRIやCT装置により迅速な検査と診断を行います。また、DSA (血管造影) 装置も導入し、より患者さまへの負担が少ない最先端の脳血管内治療を推進しています。



命の最前線・救急を積極的に受け入れ

開院以来、「いかなる時も救急を断らない」姿勢を貫き、救急隊や近隣の医療機関からの要請を受けて脳卒中患者さまを受け入れています。救急車の受け入れ台数は、年間2,000台以上。脳卒中の治療は一分一秒を争うため、救急隊員による病型予測システム「ジャストスコア」も積極的に活用しています。

専門医による迅速な手術

常時、脳神経外科専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医が待機し、一刻を争う脳血栓回収術などの脳血管内治療でも緊急手術を行える体制をとり、発症から短時間で脳の血流を再開させ、患者さまの後遺症軽減を図っています。5年間の手術実績は1,200件を超えています。



専門の集中治療室 (SCU)

急性期の患者さまをケアする、脳卒中専門の集中治療室 (Stroke Care Unit) を9床設置。経験豊富な医師や看護師、リハビリテーションスタッフがチームを形成し、24時間体制で処置を行います。SCUの運用によりスムーズな術後の回復、入院日数の短期化、早期の社会復帰を目指します。

■ MRI 3.0テスラ (2台)

強い磁石と電波で人体を多方向から鮮明に画像化。従来の1.5テスラより強力な3.0テスラを2台導入し、微細な病変も描出します。



■ DSA (血管造影) 装置

血管に造影剤を注入し、X線で詳細な判断を行います。



■ 80列マルチスライスCT

80枚分の断面が得られ、AIを用いた画像処理により少ない被ばくでの撮影が可能です。



■ そのほかの医療機器

X線一般撮影装置
回診用X線撮影装置
外科用X線Cアーム装置
定位脳手術装置 (ステレオ)
超音波診断装置・カラードプラー・TCD
胃大腸電子内視鏡
気管支ファイバースコープ
人工呼吸器
呼吸心拍監視装置 (ベッドサイドモニター)
血液ガス電解質分析装置

脳波計
脳誘発電位装置
聴力検査装置
高気圧酸素治療装置
心電計
ホルター心電図
超音波検査 (エコー) 装置
トレッドミル
血液生化学自動分析装置
血液脈波測定装置 など

■ 脳ドックで脳卒中予防に取り組みます

当院は日本脳ドック学会認定施設で、MRIによる詳細な画像検査と専門医の診察により、脳の病気の兆候を早期に発見します。使用する機器は、最先端のMRI3.0テスラ。高画質で鮮明な画像を用い、入念に脳腫瘍や脳血管の狭窄などを探します。合わせて、脳の萎縮度検査も行い、アルツハイマー型認知症の前兆となる萎縮を確認します。



専門性と人間性を磨き 「愛ある看護」で患者さまを支えます

専門医による高度な診断・治療を、きめ細やかなサポートで支えるのが看護部門です。不安を感じている患者さまに安心していただけるよう、手術から集中治療、回復期のリハビリ、退院後の療養生活までのケアに全力を尽くしています。



■ 外来・手術室【1・2階】

一般外来に加え、超急性期の患者さまの手術を担当。救急医療にも関わるため、メンバーは技術の向上に取り組み、根拠に基づいた看護の実践に努めています。



3・4階病棟【59床】

■ 回復期リハビリテーション病床【59床】

効果的にリハビリテーションが進むようチーム医療を推進。自宅訪問なども必要に応じて行い、きめ細やかな入退院支援で在宅復帰をサポートします。



■ 訪問看護

ご自宅での療養生活をサポートするため、健康状態の観察や介助方法の助言、床ずれ予防のケア、服薬指導などを幅広く行っています。



2・3階病棟【51床】

■ SCU【9床】

脳卒中ケアユニット(SCU)で、集中管理が必要な患者さまを24時間体制で看護しています。スタッフには先端医療に関する知識も求められます。



■ 急性期病床【32床】

脳卒中の手術や超急性期治療を終えた患者さまと、内科の患者さまを担当。幅広い視野を持ち、異常の早期発見と対応に取り組んでいます。



■ 地域包括ケア病床【10床】

急性期治療を終え、すぐに自宅や介護施設へ退院するには不安がある患者さまに向け、安心して地域に戻れるように環境調整を行います。



当院は「看護師(准看護師)育成キャリアパス」を策定し主体的な看護ができる「自律した人材」を育てています



■ 専門・認定看護師が活躍の場を広げています

■ 専門看護師

◎慢性疾患看護専門看護師
慢性疾患の疾病管理や、健康増進・生活改善プランを提案します。

■ 資格取得支援制度でキャリアアップ

当院に在籍したまま資格が取れるよう、給与保障や入学科・授業料支援等のサポート制度があります。

■ 認定看護師

◎摂食嚥下障害看護認定看護師
適切な口腔ケアで誤嚥性肺炎を防ぎ、「食べる能力」を支援します。

◎感染管理認定看護師
患者さまやスタッフなどを感染から守る仕組みづくりを担当。



■ 医療安全管理室

医療安全に係る当院の中枢を担い、患者さまに安心・安全な療養環境を提供しています。



全床365日継続した支援で 在宅復帰率約80%を実現しています

チーム医療の一員として、医療・看護と連携したリハビリテーションを実施しています。手足や顔の麻痺などの機能障害の改善に向けて、超急性期から回復期まで毎日支援。在宅復帰、役割の再獲得や社会復帰を目指します。



理学療法で「立つ・歩く」練習

発症直後から身体症状に合わせて段階的に筋力をつける動作や「起きる」「立つ」練習を行い、積極的に歩行訓練も進めています。



作業療法で日常動作を獲得

食事や着替え、入浴、トイレなど、日常生活に必要な動作の回復を目指します。また塗り絵や園芸などの作業を通じて、趣味や生きがいづくりを応援します。



言語聴覚療法で会話を訓練

言葉をうまく話せず、聞いて理解することが困難になる「失語症」に対し、コミュニケーションの改善を目指します。嚥下機能の向上にも取り組みます。



心理的サポートでストレス軽減

公認心理師がカウンセリングを行い、急性期には突然の発症で混乱した気持ちの整理をお手伝い。回復期には、今後の生活や社会復帰など、入院生活の中で生じる不安点を整理して、治療や退院後の意思決定をサポートします。



地域の皆さんの健康的な生活を支えます

広島県指定の「広島二次保健医療圏における地域リハビリテーション広域支援センター」として活動中です。介護予防のための「集いの場」の開設、医療・介護人材の交流の場づくり、災害時の避難所支援などを行っています。



入院時から退院後まで「トータルサポート」を行います

1 急性期

入院直後から365日リハビリテーションを行い、ベッドで寝ている時間をできるだけ短くして心身機能の低下を防ぎます。



2 回復期

機能訓練、活動量の増加に加え、退院後を見据えて、自宅への外泊練習、車の乗り降り練習などを幅広く行います。



3 退院後の生活期

詳細はP13-14を参照

【訪問リハビリ】自宅で動作練習と自主トレーニングを指導します。ご家族にも介助方法をアドバイスします。



【通所リハビリ/デイサービス】集団での体操やマシントレーニング、個別訓練に加え、生活リハビリの視点も大切にしています。



さまざまな機器を用いた
リハビリテーションが
成果を
上げています

装着型サイボーグHAL®

脳からの「体を動かしたい」という信号を増幅し、円滑な運動を援助。その感覚を反復して経験し、脳は体の動かし方を再学習します。



IVES (アイビス)

麻痺した筋肉の微弱な活動を電極で感知し、その活動に合わせて筋肉に電気刺激を与え、上肢機能や歩行能力の回復につなげます。



ジェントルスティム

嚥下障害へのアプローチとして、喉に微弱な電流(干渉波)をあて、感覚神経に刺激を与えて嚥下反射を誘発します。



パワープレート®

三次元の微細な振動によるトレーニングマシンを活用し、神経や感覚センサー、筋骨格、循環器系を刺激して機能回復を図ります。



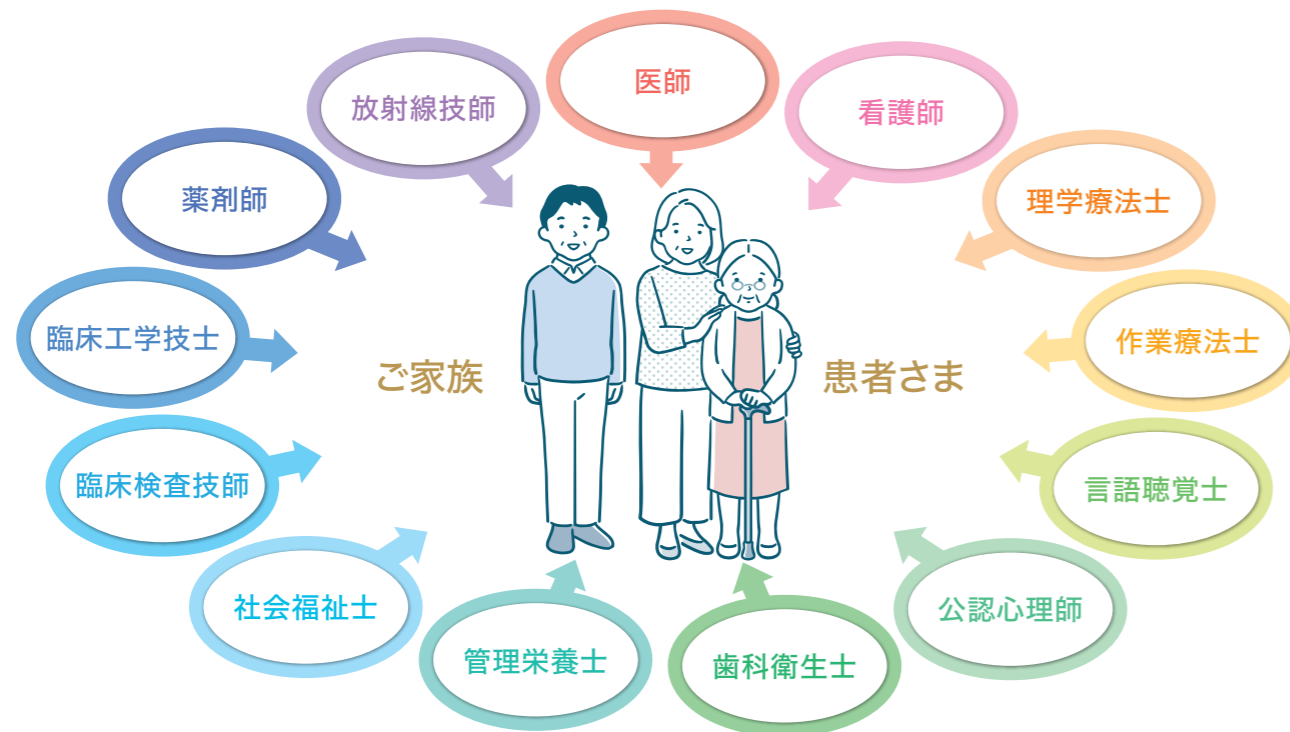
パスリーダー

磁気で末梢神経を刺激し、筋肉の収縮を促します。着衣のまま使用できるので、皮膚が弱い患者さまでも安心です。



多職種のプロが協働して 包括的で効果的な治療を推進します

各分野のスタッフが高い専門性を発揮し、組織横断的なチーム医療で、患者さまの早期社会復帰を目指します。薬剤師や管理栄養士、歯科衛生士は病棟ごとに配置するなど、きめ細かいケアで治療効果を高め、患者さまの安心感につなげていきます。



多職種が参加する病棟カンファレンス



栄養サポートチームによる回診



感染防止対策チームの病棟ラウンド

「サステナブルな医療システム」を構築 地域社会の健康増進に寄与します

高齢化が進む中、安心して住み慣れた街で暮らしていくためには、地域全体で医療・福祉ケアの質を高める必要があります。当院には社会福祉士が在籍し、医療と介護を橋渡し。健康教室なども開催し、住民の皆さまの健康意識向上を支援しています。



地域連携室に社会福祉士と看護師を配置



「広島西区民まつり」で健康づくり啓発



健康教室・介護教室を開催

近隣の医療機関と地域完結型医療を推進します

地域連携の会 (オープンカンファレンス)

医療機関の皆さまと連携強化を図るため定期的に開催しています。



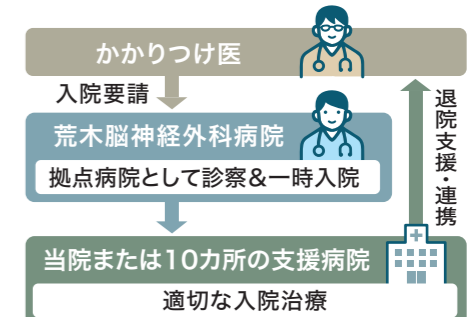
画像診断機器の 共同利用

当院のMRIで撮像し、放射線科専門医による読影結果を送付します。



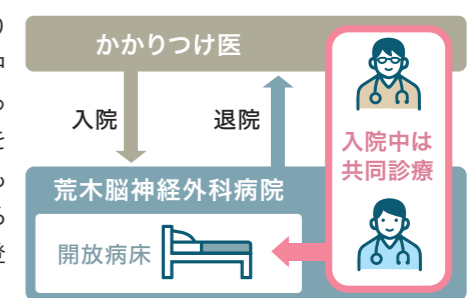
西区在宅あんしん病院

広島市西区医師会の医療・介護ネットワーク「西区在宅あんしん病院」に参画しています。当院は「拠点病院」として、「かかりつけ医」が在宅療養は困難と判断した患者さまを受け入れ、診断と一次入院を担当。在宅療養、在宅介護をバックアップします。



開放病床で共同診療(5床)

地域の医療機関の登録医(かかりつけ医)に病床を開放し、入院中は当院の医師と共同で診療を行っています。かかりつけ医が治療を詳細に把握できるため、退院後も患者さまは一貫した医療を受けることができます。※開放病床の登録医になるには申請が必要です。



アラキヘルスケアプラザ

ARAKI HEALTHCARE PLAZA

医療と介護・リハビリを集約し 健康・福祉に貢献します

2023年に完成した7階建ての施設に、医療法人光臨会の介護事業部とクリニック、リハビリ施設を集約。地域の皆さまの健康と福祉に貢献する拠点として運用しています。



詳しくはこちら



医療・リハビリ

あらしき脳・循環器・リハビリクリニック

- 脳神経外科
- 小児科／けいれん外来
- 内科
- リハビリテーション科
- 光臨会附属
脳・心臓・血管研究所

- 通所リハビリテーション
集団でのレッドコードエクササイズ（ストレッチや筋トレ、バランス練習）や、動作練習を1回80分で実施しています。
■対象 要支援1・2／要介護1～5
■地域 広島市西区（近隣地域も可）

- 訪問リハビリテーション
身の回りの動作練習や、手すりなどの環境整備、自主トレーニングの提案などを1回40分で行っています。
■対象 要支援1・2／要介護1～5
■地域 広島市西区全域、中区と佐伯区の一部



通所介護

デイサービスあらしき

「交流したい」「外出して運動したい」「入浴ケアが受けたい」といったニーズに応えます。1日3回の体操や個別の機能訓練を実施し、イベントも随時開催します。入浴はどのような方でも体を温め清潔に保てるよう、機械浴（ミストシャワー）を設置しています。

- 対象 要支援1・2／要介護1～5
- 地域 広島市西区（近隣地域も可）



詳しくはこちら



機能訓練施設

広島ロボケアセンター

世界初の装着型サイボーグHAL®を用い、身体機能を改善・補助・拡張・再生できる最先端の自費機能訓練施設です。脳卒中や交通事故の後遺症、パーキンソン病、手術後の筋力低下などの疾患に、質の高いプログラムを提供しています。

歩く

下肢の運動を強力アシスト



立つ

腰を支え体幹・下肢を強化



曲げ伸ばし

肘・膝・足の関節を補助



詳しくはこちら



認知症対応型共同生活介護

あんしんホーム

認知症の方々がスタッフのサポートを受け、その方らしく共同生活を送ります。看護師が常駐し、定期的な医師の訪問診療があるので安心。日常を彩る季節行事も盛んです。

- 対象 認知症の診断を受けた要支援2／要介護1～5の方で、共同生活に支障のない方
- 地域 広島市にお住まいの方



ひろしま介護
マイスターが
在籍

詳しくはこちら



居宅介護支援事業所

荒木居宅介護支援事業所

介護に関するさまざまな相談を受け、住み慣れた地域や自宅で生活が継続できるよう、ご希望に合わせたケアプラン作成などを行います。

- 対象 要介護の認定を受けた方
- 地域 広島市西区全域、中区と佐伯区の一部

詳しくはこちら



企業主導型保育事業所

アラキッズルーム



職場環境整備の一環として開設した保育園で、職員のお子さんを夜勤の時間帯も預かります。日当たりのよい保育室に隣接して、屋外遊戯場があります。



ガレノスホール

職員の交流スペースと、会議やイベント用の研修室を備えています。



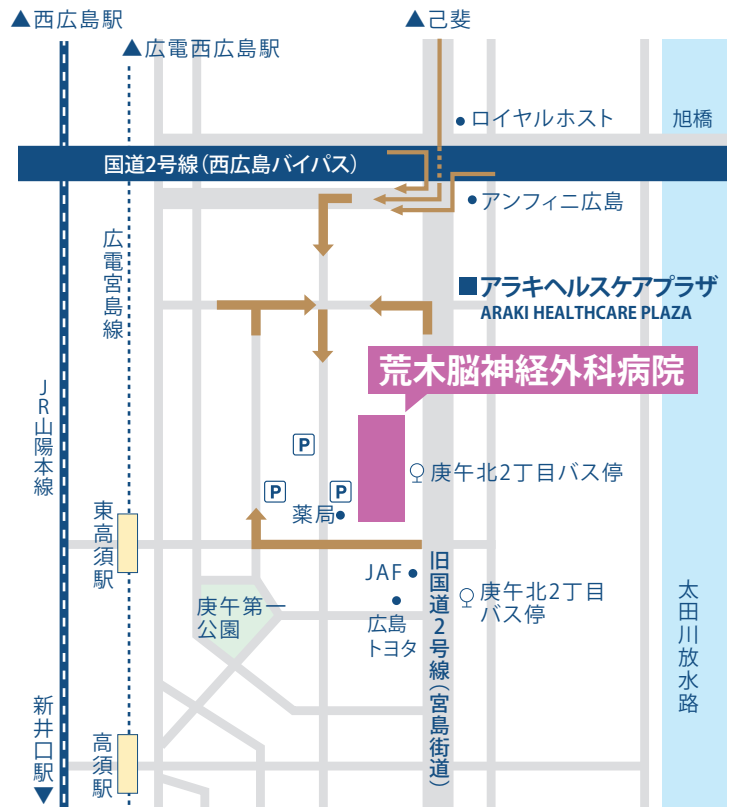
厨房

館内のデイサービスやホーム、保育園向けに、手作り料理を提供。



フロアガイド

5F	一般浴室／研修室／厨房
4F	回復期リハビリテーション病床
3F	急性期病床／ 回復期リハビリテーション病床
2F	救急室／手術室／血管内手術室 MRI室／CT室／一般撮影・透視室 急性期病床／SCU 画像診断センター
1F	受付／外来／臨床検査室 内視鏡室／リハビリテーション室 高気圧酸素治療室／総合相談室



診療のご案内

		月	火	水	木	金	土	日
午前	受付 8:30～11:30	○	○	○	○	○	○	—
	診療 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後	受付 14:30～17:30	○	○	○	○	○	○	—
	診療 15:00～18:00	○	○	○	○	○	○	—

休診日 日曜・祝日

急患診療

夜間・休日・時間外も対応
※電話連絡の上、受診ください。

☎082-272-1114

外来診療科

脳神経外科・脳神経内科
総合診療科(一般内科／一般外科／循環器内科／消化器内科)

初診 電話予約優先。ご予約なしでも受診できます。

再診 事前予約制。



医療法人 光臨会

荒木脳神経外科病院

Araki Neurosurgical Hospital

〒733-0821 広島県広島市西区庚午北二丁目8-7

☎082-272-1114

<https://arakihp.jp/>

最新情報は
こちらから▶

